

平成19年度

観光文化局予算要求方針

- 目 次 -

1	平成19年度観光文化局予算要求総括表	1
2	19年度予算要求にあたっての基本的考え方	2
3	予算要求の重点事項	3
	(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	
	(2) 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ	
4	事務事業の見直し等	9
	(1) 事務事業の見直し	
	(2) 団体補助金	

1 平成19年度観光文化局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成18年度 予 算 額 A	平成19年度 要 求 額 B	増 減額 B - A	増減率 (B - A) / A
観光部	742 (616)	552 (440)	190 (176)	25.6% (28.6%)
文化部	2,671 (2,240)	2,706 (2,287)	35 (47)	1.3% (2.1%)
スポーツ部	7,563 (5,895)	3,950 (2,820)	3,613 (3,075)	47.8% (52.2%)
合 計	10,976 (8,751)	7,208 (5,547)	3,768 (3,204)	34.3% (36.6%)

1 ()内は一般財源額

2 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある。

2 19年度予算要求にあたっての基本的考え方

1 芸術・文化、スポーツを通じた魅力あるまちづくりの推進

芸術・文化やスポーツを市民が気軽に楽しむことができる環境を整えることで、創造性豊かで活力のある札幌の文化の創造、発展を促し、この街に住むことに誇りを持てるような魅力あるまちづくりを進める。

2 集客交流の促進

札幌が持つ豊かな自然、四季折々の祭りやイベントに加えて、芸術・文化、スポーツなどを新たな集客交流資源として積極的に活用することにより、国内外の多くの人たちが交流し、活気あふれる“集客交流都市 さっぽろ”を実現させる。

3 予算要求の重点事項

(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

1 協働による観光振興とコンベンション事業の推進

66百万円(78百万円)

注:()内は18年度予算額

来客2000万人を目指し、市民・企業・行政の協働のもとで「おもてなし」の向上を推進するとともに、新たな街の魅力を創造・発掘し、これらを国内外に積極的に発信することにより、集客交流の促進及び地域経済の活性化を図る。

ア 観光都市さっぽろ推進事業(観光部)

28百万円

- 魅力づくり発信プロジェクト -

観光関連事業者が主体的に行うさまざまな街の魅力づくりや、新たな札幌観光のイメージにつながる商品開発など、集客に向けた地域の魅力アップに係る取組に対する支援を行う。

- 個人客対応充実プロジェクト -

国内外において増加している個人旅行者への対応を幅広く充実させるため、札幌に着いてからの交通アクセスの改善に向けた施設共通パス化に対する支援や、外国語版観光ホームページの再整備等を行う。

- 来客受入強化プロジェクト -

観光客の利便性を向上させるため、適切な観光情報をリアルタイムで提供する体制を整備するとともに、外国語版の観光マップを制作する。

- コンベンションプロジェクト -

コンベンションやインセンティブツアーを誘致するため、大規模コンベンション見本市への出展や、コンベンションの主催者等の招へい事業、コンベンション参加者向けガイドブックの作成等を行う。

イ ターゲット別国内観光プロモーション事業（観光部） 9百万円

首都圏、関西圏及び中京圏からの新たな旅行商品の造成等による札幌への誘客を促進するため、旅行会社の商品企画担当者を対象にした札幌観光に関するセミナーの開催や一般市民向けのキャンペーン等を行う。

ウ 国際観光促進事業（観光部） 11百万円

アジアの有望市場を対象として、国が実施する訪日外国人観光客誘致事業「ビジット・ジャパン・キャンペーン」と連携しながら、メディアを活用したイメージ発信、現地におけるプロモーション活動、商品開発支援等の誘致宣伝事業等を行う。

エ 平岡公園梅林ライトアップ事業（観光部） 7百万円【新規】

新たな観光魅力づくりとして、既存の集客交流資源の一つである平岡公園の梅林において、梅の開花時期に合わせた夜間ライトアップを実施するとともに、道内外に向けたPR・宣伝を行う。

オ さっぽろライラックまつり魅力アップ事業（観光部） 3百万円【新規】

春の大通公園における賑わいを創出するため、「さっぽろライラックまつり」の内容を充実させ、集客交流の促進につなげる。

カ 藻岩山魅力アップ構想推進事業（観光部） 5百万円

重要な集客交流資源の一つである藻岩山について、新たな付加価値づくりとさらなる魅力アップを図るため、「藻岩山の日」記念事業に対する支援等を行う。

キ 定山溪観光客誘致関連補助（観光部） 3百万円

定山溪地区の観光活性化に向けた自主的なまちづくり活動や、観光客誘致のための魅力発信事業等に対する補助を行う。

【成果指標】

来客数

【目標】1,332万人 1,520万人 【効果】+188万人

外国人延べ宿泊人数

【目標】49万人 56万人 【効果】+7万人

観光地としての総合満足度

【目標】満足層の割合 71.9% 80%以上 【効果】+8.1%以上

札幌市内での総観光消費額

【目標】4,776億円 5,500億円²¹ 【効果】+724億円

(2) 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ

1 芸術・文化の薫る街の実現

655百万円(587百万円)

注:()内は18年度予算額

優れた芸術・文化に親しめる環境を充実するとともに、楽しみながら実践し表現・発信できる文化の薫るまちづくりを進める。また、地域の優れた文化遺産の保存と活用を推進する。

ア パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助等(文化部) 229百万円

世界3大教育音楽祭として発展を続けているPMFに対して、事業費の補助等を行う。

イ 札幌交響楽団運営費補助(文化部) 160百万円

北海道唯一のプロオーケストラである札幌交響楽団に対し、運営費の補助を行う。

ウ 13丁目笑劇場・笑学校事業費補助(文化部) 2百万円

さっぽろ夏まつりなどの大型イベントに連動して、大衆芸能を紹介する事業に対して補助を行い、新しい札幌の魅力を発信する。

エ さっぽろアートステージ事業(文化部) 23百万円

11月を芸術文化月間と位置付け、演劇、音楽、美術などのイベントを複合的・総合的に開催する。

オ サッポロ・シティ・ジャズ事業(文化部) 46百万円

芸術の森で実施していたジャズイベントの充実を図り、国内有数のジャズフェスティバルへとステップアップさせる事業の支援を行う。

カ 公立文化施設活性化事業(文化部) 12百万円

芸術の森野外ステージ活性化推進事業として、野外ステージの客席部分に仮設スタンドを設置し、音楽や演劇などの公演を実施する事業の支援を行う。

- キ 文化活動練習会場学校開放事業（文化部） 13百万円
音楽、演劇等の文化活動団体に対して、小学校の教室を練習会場として開放する。
- ク 舞台芸術創作活動支援事業（文化部） 4百万円
演劇等の舞台芸術に係る創作・発表の活動拠点として、劇団が既存のスペースを借り受けた場合、当該賃借料の一部を補助する。
- ケ キタラファーストコンサート事業費補助（文化部） 29百万円
市内の小学6年生全員が札幌コンサートホールKitara（キタラ）で、オーケストラ演奏を鑑賞・体験するプログラムを継続して実施し、青少年の音楽普及及び振興を図る本事業に対して事業費を補助する。
- コ 子どものための舞台芸術ワークショップ事業費補助（文化部） 3百万円
子どもたちの創造性を高めるため、舞台芸術（演劇、舞踊、オペレッタ等）のワークショップを開催し、成果発表として公演を行う。
- サ 文化財施設整備事業（文化部） 57百万円
シ 豊平館保存修理事業（文化部） 14百万円
文化財施設の保全改修計画の策定、時計台、豊平館の保存修理工事等を実施する。
- ス 文化財保存費（文化部） 47百万円
文化財の保存と活用を図るため、施設の維持補修を行うほか、保護思想の普及啓発を行う。また、伝統文化の保存伝承事業に対する補助を行う。
- セ 博物館建設構想推進事業（文化部） 16百万円
博物館活動センターを活動拠点として、市民とともに成長発展する博物館づくりを進めるとともに、資料の収集・整理保存、調査・研究、普及・交流などの活動を引き続き展開する。

【成果指標】

主要芸術・文化施設の利用者数

【目標】184万人 192万人 【効果】+8万人

学習・研究の種類別行動者率（芸術・文化）

【目標】9.3% 9.5% 【効果】+0.2%

趣味・娯楽の種類別行動者率（演芸・演劇・舞踊鑑賞）

【目標】15.7% 16.4% 【効果】+0.7%

2 スポーツの魅力あふれる街の実現

386百万円(3,626百万円)

注:()内は18年度予算額

市民の誰もが身近でスポーツを楽しめる環境づくりを進めるとともに、地域住民が主体となった地域スポーツクラブを育成するしくみを検討する。また、人材確保のしくみづくりや自然に親しむスポーツ活動の実践を進めていく。

さらに、スポーツにおける札幌ブランドを高めるため、札幌ならではの冬のスポーツの新たな楽しみ方を発信するとともに、地域に根ざしたプロスポーツを市民とともに育てる。

ア スポーツ事業促進助成費(スポーツ部) 196百万円

各種スポーツ大会や各種スポーツ団体に対して補助金を交付する。また、日本サッカー協会からの助成金で、札幌ドームをサッカー主体で有効活用できる企画(イベント)に補助金を交付する。

イ トップアスリートの積極活用事業(スポーツ部) 2百万円

本市で開催されるスポーツ大会参加のために来札したトップアスリートを活用し、市民向けスポーツ教室や講演会等を実施する。

ウ ファイターズ屋内練習場市民開放事業(スポーツ部) 4百万円

北海道日本ハムファイターズの屋内練習場の市民開放を促進するため、利用料金の一部をNPO法人に対して補助する。

エ 2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会事業費補助(スポーツ部) 176百万円

同大会の清算を行う組織委員会に対して補助する。

オ ウィンタースポーツ振興事業(スポーツ部) 2百万円

ウィンタースポーツのライフスタイル化を目指す取組として、冬季スポーツ関係団体との協働による「ウィンタースポーツ体験キャンペーン」を実施する。

カ さっぽろスポーツキャラバン隊事業（スポーツ部）

6百万円

公園や学校などの身近な場所に出向いてスポーツ講習会等を開催し、市民にスポーツ活動のきっかけとなるようなプログラムを提供する。

【成果指標】

週に1回以上スポーツをする人の割合（成人）

【目標】 30.5% 40% 【効果】 +9.5%

直接スポーツ観戦をする人の割合

【目標】 45.1% 50% 【効果】 +4.9%

スポーツボランティアの経験がある人の割合

【目標】 8.2% 20% 【効果】 +11.8%

4 事務事業の見直し等

(1) 事務事業の見直し

内部効率

その他事務事業の効率化などによる見直し <見直し額 13百万円>

(2) 団体補助金

財団法人北海道文学館 <19年度要求額 0百万円 / 見直し額 2百万円>

社団法人北海道邦楽邦舞協会 <19年度要求額 0百万円 / 見直し額 1百万円>

北海道二期会 <19年度要求額 0百万円 / 見直し額 1百万円>

北海道舞踊華扇会実行委員会 <19年度要求額 0百万円 / 見直し額 1百万円>

さっぽろ旭山うた祭りの会 <19年度要求額 0百万円 / 見直し額 1百万円>

全道バレエフェスティバル・イン・サッポロ実行委員会
<19年度要求額 0百万円 / 見直し額 1百万円>

ファッションタウン・さっぽろ推進協議会
<19年度要求額 0百万円 / 見直し額 1百万円>

特定非営利活動法人札幌室内歌劇場
<19年度要求額 0百万円 / 見直し額 1百万円>

真駒内選抜スピードスケート競技会
<19年度要求額 0百万円 / 見直し額 1百万円>

ツール・ド北海道国際大会 <19年度要求額 0百万円 / 見直し額 1百万円>

札幌国際ハーフマラソン大会 <19年度要求額 0百万円 / 見直し額 2百万円>